

公共交通地区別座談会 館野地区

開催結果報告書

平成30年11月22日
館山市企画課

【もくじ】

0.公共交通地区別座談会の実施目的	3ページ
1.公共交通地区別座談会（館野地区）実施概要	4ページ
2.館野地区の特徴など	5ページ
2-1.館野地区の位置（GIS地図から）	6ページ
3.館山市の公共交通の現状に関する説明	7ページ
4.路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度の説明	7ページ
5.グループワーク	8ページ
5-1.館野地区で出された意見	10ページ

0.公共交通地区別座談会の実施目的

- ◆今年度及び2019年度（平成31年度）の2年をかけて策定する「館山市地域公共交通網形成計画」に、地域住民の生の声やニーズを収集し、分析を行う
- ◆分析結果については、計画内容になるべく具体的に反映させるとともに、当該地域における移動手段の必要性や確保策などについて検討するための資料とする
- ◆移動手段の必要性や確保策の検討結果を踏まえ、その導入や維持について検討していく

1.公共交通地区別座談会（館野地区）実施概要

【日時】

- ◆2018年（平成30年）11月13日（火曜日）午後2時から午後3時30分

【会場】

- ◆館野地区公民館

【参加者数】

- ◆豊房地区住民3名（女性1名、男性2名）

【内容】

- ◆館山市の公共交通の現状について、資料を用い説明（市企画課職員）
- ◆路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け割引制度説明（館山日東バス社員）
- ◆グループワーク
 - 下記のテーマについて、参加者が意見を出し合い、それを付箋に記入し可視化・移動について困っていることや課題だと思いませんか？また、課題や困っていることを解決するため、住民の皆さんでできることはありますか？
 - 最後に、市職員が出された意見等を集約し、発表

2.館野地区の特徴など

【地区の生い立ち、特徴】

- ◆館山市平野部の南東に位置し、奈良時代に安房国分寺が置かれるなど、安房の中心地として開発が行われた地域
- ◆肥沃な平野が広がり農業が盛んだが、市街地寄りでは住宅開発が進んでいる

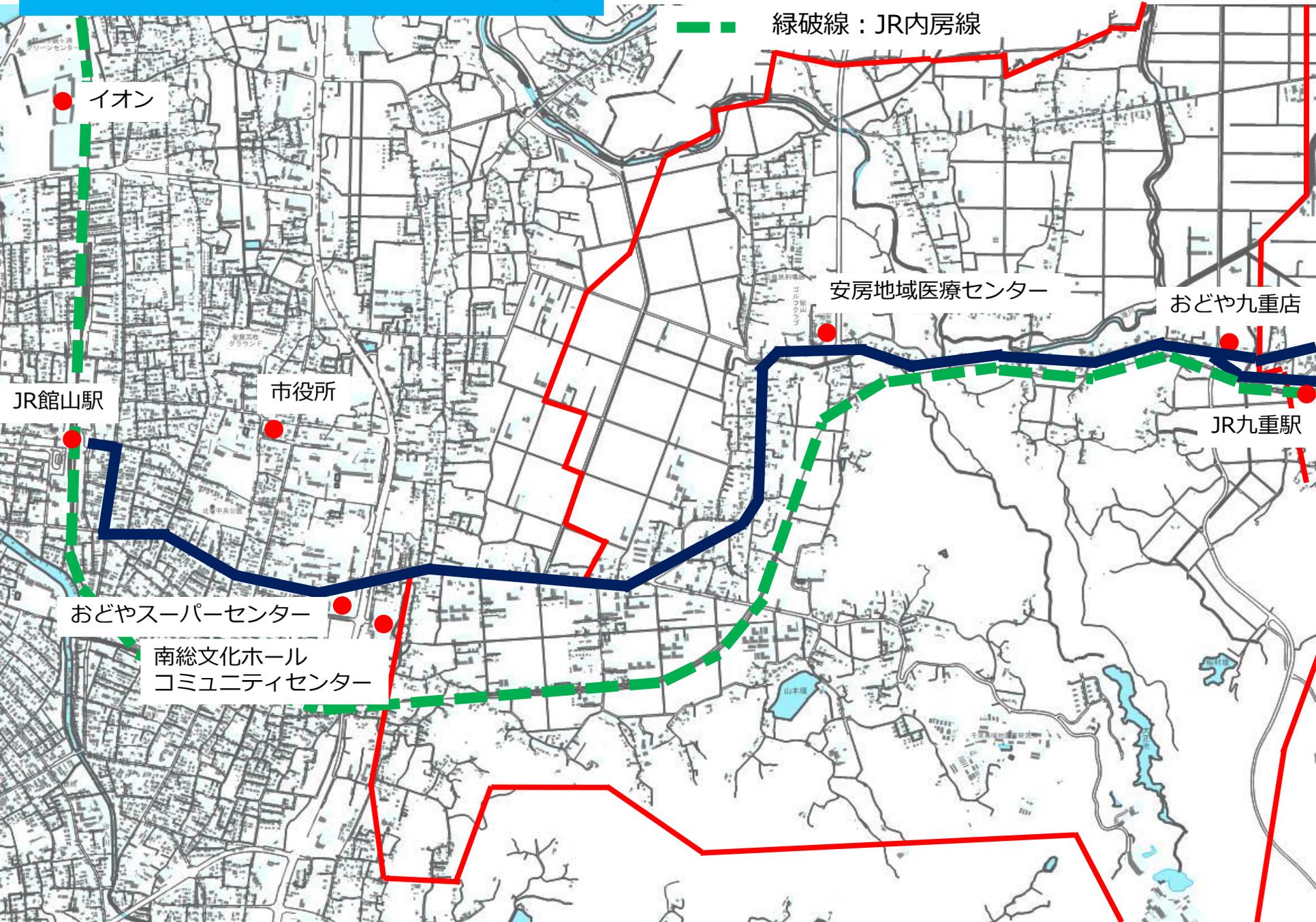
【商店分布・交通の状況】

- ◆最寄のスーパーはおどやスーパーセンター又はおどや九重店となる 国道128号には、チェーンの飲食店や自動車販売店等が多く立ち並んでいる
- ◆地域の基幹病院である安房地域医療センターのほか、館山駅近くから移転したたてやま整形外科など、医療機関も複数所在している
- ◆館山日東バスの「館山鴨川線」及び「千倉線」が国道128号を走るほか、稲集落はJR内房線の九重駅も近い
- ◆上記路線バスや鉄道駅が利用できない公共交通空白地が複数存在する

【人口の状況等】 ※住民基本台帳人口を基にした館山市統計データを参照

- ◆4月1日現在、地区人口3,480人（平成20年度比92.9%）
高齢化率35.3%（平成20年度高齢化率23.6%）
集落別高齢化率：大網34.6%、安布里31.0%、山本30.9%、国分36.3%、稲37.0%
腰越41.3%、広瀬47.2%
館山市街地から離れ、公共交通に恵まれない腰越、広瀬において、高齢化率が40%を超え高くなっている

2-1. 館野地区の位置 (GIS地図から)



3.館山市の公共交通の現状に関する説明

【説明内容】

- ◆鉄道・路線バス・タクシーとも、利用者が減少傾向であること
- ◆加えて、バス・タクシー業界では担い手不足や高齢化が課題であること
- ◆事業者の独立採算では公共交通の維持が難しくなっていること
- ◆公共交通を維持していくためには、行政・事業者・住民皆が「自分ごと」として捉え、連携して取り組んでいく必要があること

4.路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度の説明

【説明内容】

- ◆基本的な路線バスの乗り方について
- ◆65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度「ノーカーサポート優待証」の内容や発行方法などについて

5.グループワークの結果（1/2）

○グループをつくり、意見を出し合った。（結果は10ページ以降に記載）

【主な内容】

◆高齢者でも乗りやすいバスにしてほしい

- ・バスのステップが高く、乗れない人がいる
- ・乗用車のほうが乗りやすいということになってしまう

◆タクシーを呼んでも時間がかかってしまう

- ・一社廃業した後は、タクシーを呼んでも時間がかかる
- ・行きに路線バス、帰りはタクシーを使う場合も大変

◆バイパス経由や市役所、イオンへのバスを設けてほしい

- ・現在、館野地区からイオンに直通するバス路線がない
- ・市役所に行くバスがない
- ・買物にバスを利用するには本数が少ない 荷物を持って待つのは無理

◆食品・日用品や食事の宅配サービスも充実している

- ・最近、弁当を配達してくれる業者が増えた
- ・隣近所で行くつか頼むと割引になる業者もある

◆買物先、通院先にはそれほど困っていない

- ・医療センターやたてやま整形外科、清川整形外科、原クリニック等があり便利
- ・スーパーも、おどや九重店やおどやスーパーセンター、ときわや等が使える
- ・市内では、比較的買物や通院に困らない地域といえる

5.グループワークの結果（2/2）

○グループをつくり、意見を出し合った。（結果は10ページ以降に記載）

【主な内容】

- ◆国道128号等幹線は交通量が多く、歩道も整備されていないため、自転車に乗るのが怖い
- ◆九重駅付近の道路付け替えについては、事前に住民の声を聞いてほしい
- ◆地域支えあいの取組は、館野地区全体でないとやりきれない
 - ・集落ごとではとてもやりきれない
 - ・誰が支えあいを担っていくのか、担い手を考える必要がある
 - ・地区内の公共交通空白地の対策が必要
- ◆車に乗れなくなったときのことを想像できない、将来に不安がある

5-1.館野 出された意見

高齢者にも乗りやすいバスにしてほしい

お年寄りでも簡単に乗れるバスの導入を

乗用車はお年寄りでも乗りやすい

バスのステップが高くてつまずきそうになり危険

ステップが高いのでバスにのらない人もいる

タクシーについて

タクシーは呼んでから乗るまで時間がかかる

タクシーの台数が少ない行きバス、帰りタクシー利用にしても大変

買物・食事の宅配サービス

買物や食事は配達に頼っている人もいる

最近、弁当屋が増えている

路線バスのルート、ダイヤ等について

市役所に行くバスがなく、公共交通では行けない

バイパス経由でカインズに行くバスがほしい

館野からイオンに直通するバスがない

接続がよければ乗換が必要でも構わない

病院に行くのにバスの接続がよいと助かる

買物の際のバス利用は本数が少ない 荷物を持って待つのは無理

通院先について

山本に安房地域医療センターがあり通院は困らない

他にたてやま整形外科や清川整形外科、原クリニック等があり便利

たてやま整形、清川整形は国分から徒歩2、30分程度

買物先の状況

国分にはスーパーがなく、どの店も遠い

おどや九重店は近いし車も止めやすくて便利

九重にはときわややウェルシアもある バス停もある

ときわやは駐車場が混雑していて怖い

住民票の受取

南房総市は住民票をコンビニで受け取れるが、館山市は受け取れず市役所に行く必要がある

地区の特徴

市内では比較的買物、通院等に困らない地域

おどやや文化ホールもそれほど遠くない

車が一家に3~4台はある

学生の送迎を親が行っているケースが目立つ

若い人が働く場所が少ない

5-1.館野 出された意見

道路整備、道路交通の状況について

自転車も乗るのが怖い

交通量が多かったり、道路の形状が悪いため

国道128号の歩道がしっかり整備されていない

九重駅付近の道路付け替えについて

九重の道路付け替えが終わると、九重駅に高速バスが止まらなくなるか？

路線バスも九重駅に止まらなくなり不便になるか？

道路付け替えに関し、事前に住民の声を聞いてほしい

地域支えあいについて

地域支えあいの取組は、館野地区全体でやれば

集落ごとにと言われてもやりきれない

包括支援センターはあるが、あまり認知されていない

館野のコミュニティで地域づくりに関する話し合いを進めているが、難しい状況

地域支えあい交通 1回500円で利用できたらよい

地域支えあいの担い手は誰がやるのか

何かあったら困るので、他人を自分の車に乗せたくない

公共交通空白地の対策が必要 大網、腰越、広瀬、萱野、山本の奥など

将来への不安

車に乗れなくなったときのことを想像できない

現在、一人暮らしであり将来が心配